

第3章

生涯活躍のまちづくり (健康・福祉)



10年後に 目指す姿

充実した医療福祉環境のもと、生涯を通した心や体の健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちを目指します。

重点テーマ

生涯にわたる健康の維持

重点施策

- 1 地域包括ケアの推進
- 2 健康づくりと介護予防の推進

1 地域包括ケアの推進

目標

地域内の保健・医療・福祉のサービスを一体的に提供することで、一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続け、生涯にわたって活躍できる希望をもたらします

- 居住する地域内で必要なサービスを受けることができる保健・医療・福祉の連携体制の推進
- 移住者と地域住民が共に生きがいを持って生涯にわたり活躍できるまちの実現
- 生涯学習やボランティア活動等への参加の促進
- 多様な特性のある人が社会の一員として活躍できる環境の充実

現状と課題

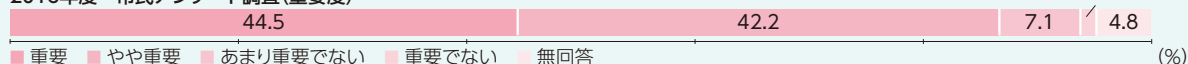
本市の地域特性を活かした保健・医療の体制整備や地域福祉の担い手の充実によって、市民の健康的な生活を支えることが求められています

- 生産年齢人口の減少による地域のボランティア等の支え手の不足
- 高齢単独世帯の増加
- 高度医療機関の集積や豊富な医師数をはじめとした医療環境など地域特性を活かしたまちづくりの要請
- 障害者就労支援施設から一般就労への移行者の更なる増加

関連データ等

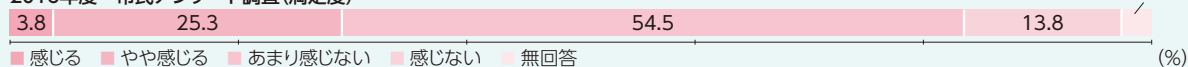
障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしている。

2016年度 市民アンケート調査(重要度)

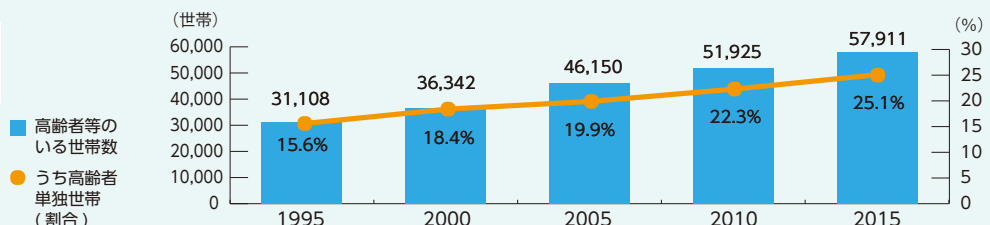


福祉ボランティアや福祉活動に、積極的に参加する人が増えている。

2016年度 市民アンケート調査(満足度)



高齢者等世帯数の推移



施策の方向性

(1) 保健・医療・介護・地域の連携を強化します

- 在宅医療や病院、介護が連携できる医療・介護体制づくり
- 地域住民や企業・団体が連携した見守り・支え合いの仕組みづくり
- 認知症に関する理解の促進

成果指標

医療と介護の連携に係る相談件数

実績(2012)

なし

現状(2016)

212件

目標(2020)

300件

※実績値「なし」は、2016年に「おうちで療養センターまえばし」を設置したことによるもの。

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 地域住民同士の交流、見守り、支え合い
- 認知症に対する理解

企業・団体

- それぞれの企業・団体の特徴を活かした地域貢献
- 行政との連携、協力

行政

- 在宅医療や病院、介護の連携の推進

(2) 医療・介護・住居・生きがい創出等の機能を集積し、地域において多世代が交流できる拠点を整備します

- 生涯活躍のまち拠点の整備
- 地域との交流行事や生涯活躍のための生きがい創出活動の支援

成果指標

市民アンケートで「お年寄りが社会の一員として生きがいを持って元気に活躍していると感じる。」という質問に「感じる」「やや感じる」と回答した人の割合

実績(2013)

53.6%

現状(2016)

51.1%

目標(2020)

55.0%

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 地域行事への参加等を通じた関係づくり
- ボランティア活動等への参加
- 生涯学習等で習得したスキルの地域還元
- 心身の健康維持・増進に対する意識づくり

企業・団体

- 地域行事への貢献や支援
- 地域交流事業の開催や運営
- 自治会等地域団体との連携
- 地域の新たな付加価値を生む提案や協働

行政

- 生涯活躍のまち拠点整備の推進
- 生きがい創出活動への支援
- 市民参加活動に関する積極的な広報や勧誘
- 移住促進のためのシティプロモーションの充実

(3) 障害のある人もない人も共に生きる地域社会を目指し、自立と社会参加を支援します

- 障害者の雇用・就労に向けた支援
- 障害者の自立を支援するための体制づくり

成果指標

障害者就労支援施設から一般就労へ移行した人数(年間)

実績(2012)

9人

現状(2016)

22人

目標(2020)

33人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 障害の特性に対する理解

企業・団体

- 障害者の雇用
- 障害者就労施設への発注

行政

- 相談支援体制の充実
- 障害者雇用促進に向けた啓発

●関連する個別計画●

県都まえばし創生プラン、まえばしスマイルプラン、前橋は一とふるプラン、前橋市障害福祉計画、健康まえばし21

2 健康づくりと介護予防の推進



目標

予防から治療までの支援を切れ目なく行い、一人ひとりの心身の健康が守られている暮らしをもたらします

- 子どもから高齢者まで生涯を通じた地域ぐるみの健康づくり
- 高齢者一人ひとりがその人らしく暮らせるための積極的な介護予防
- 心の健康に関する知識の普及啓発を行うことによる市民の心の健康の保持増進
- 元気な高齢者が活躍することによる地域住民の支え合い

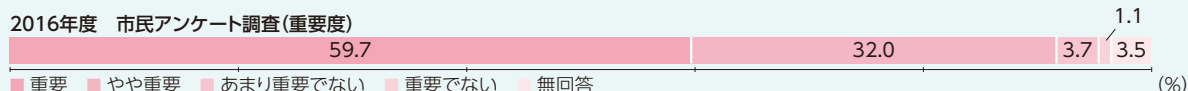
現状と課題

健康で豊かな生活の実現のため、生活習慣病や心の病気を予防する取組や支え合いが求められています

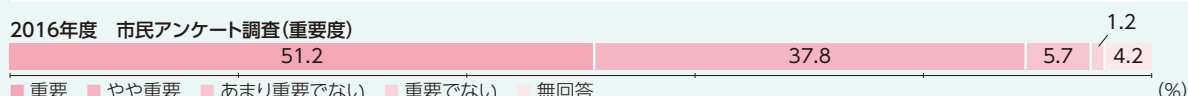
- 受診率向上に向けた取組の充実の必要性
- 介護予防教室への前期高齢者の参加率低迷
- 毎年約80人が自殺しており、原因の約50%が心身の健康問題に由来
- 地域住民同士の互助や共助による生活支援等の支え合いの不足

関連データ等

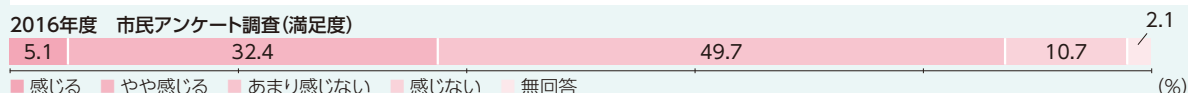
健康づくりの機会や地域で必要な医療を受けられる体制が整っている。



健診(検診)や生活習慣病予防対策、母子保健指導などが充実している。



生涯を通じた心や身体の健康づくりに取り組む環境が整っている。



施策の方向性

(1) 生涯にわたる心身の健康づくりにより、誰もが生きやすいまちをつくります

- 健康診査、各種がん検診等の実施
- 介護予防のための必要な情報提供
- 食育の推進・生活習慣病予防等、健康づくりのための知識の普及や実技指導
- 精神疾患予防のための取組
- 自殺防止に向けた連携・協力体制の整備

成果指標

脳血管疾患の年齢調整死亡率^{※1}

実績(2012)
男45.8%
女24.4%

現状(2015)
男34.1%
女17.6%

目標(2020)
男34.0%
女17.0%

介護予防に向けた体操参加者数(年間)

実績(2012)
49,984人

現状(2016)
92,789人

目標(2020)
98,600人

ゲートキーパー研修受講者数(累計)

実績(2013)
439人

現状(2016)
1,261人

目標(2020)
1,661人

※2013年からゲートキーパー研修を開始したため、実績値を2013年とするもの。

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 定期的な健康診査、各種がん検診等の受診
- 生活習慣の見直しによる心身の健康の保持・増進
- 家族をはじめとした身近な人による相互見守り

企業・団体

- 健康診査、各種がん検診等の受診勧奨
- 従業員の健康づくり・介護予防の取組推進
- 市民や行政との協働による介護予防活動

行政

- 健康診査、各種がん検診等の受診勧奨による受診率の向上対策
- 生活習慣病予防による介護予防
- 精神保健福祉に関する知識の普及啓発

(2) 支え合うための人づくり、ネットワークづくりを推進します

- 地域に根ざす担い手の養成とその支援
- 総合事業関連のサービス従事者の人材育成
- 地域における介護予防のためのネットワークづくり

成果指標

介護予防の担い手の活動人数(年間)

実績(2012)
13,457人

現状(2016)
19,136人

目標(2020)
23,400人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 介護予防のための体操の運営と参加
- 地域における居場所づくり
- 住民主体のサービスによる支え合い

企業・団体

- 企業・団体における担い手の人材育成
- サービス従事者の雇用促進

行政

- 担い手の養成と育成
- 地域でサービスを提供する市民、企業団体のネットワークづくりのコーディネート
- 生活支援サービス提供体制のための人材育成

●関連する個別計画●

県都まえばし創生プラン、まえばしスマイルプラン、健康まえばし21、元気まえばし食育プラン、前橋市自殺対策推進計画、前橋市国民健康保険特定健康診査等実施計画

※1 年齢調整死亡率…年齢構成を一定の基準に調整した上で算出した死亡率のこと。

脳血管疾患は高齢になるほど死亡率が高くなるため、高齢者が多い集団は高齢者が少ない集団より脳血管疾患の死亡率が高くなるが、その差が真の死亡率の差なのか、年齢構成の違いによる差なのかは区別できないことから、年齢構成が異なる集団の間で死亡率を比較する場合や、同じ集団で死亡率の年次推移を見る場合に年齢調整死亡率を用いる。